

令和5年度B日程  
学力検査問題

①

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて6ページで、問題は□一から□三まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に  
**志願先高等学校名と受検番号**を書きなさい。
- 5 答えはすべて**解答用紙の指定された欄**に書きなさい。

志願先高等学校名	受検番号
高等学校	

□ 次の(一)～(四)の問いに答えなさい。

(一) 次の1・2の文の――線部の漢字の読みがなを、それぞれ書きなさい。

1 皆の前で宣誓する。

2 海底に潜る。

(二) 次の1・2の文の――線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書きなさい。

1 留学するにはゼツコウの機会だ。

2 鳥がムれになって飛ぶ。

(三) 次の行書で書かれた漢字の部首の名称を、ひらがなで書きなさい。

猫

(四) ひなたさんが所属する生徒会では、若葉中学校の全校生徒と保護者に向けて、地域清掃活動の内状を出すことになった。次は、地域清掃活動の予定を記した【メモ】と、ひなたさんが【メモ】

をもとに作成した【案内状の下書き】である。また後の【会話】は、ひなたさんが【案内状の下書き】について先生と話をした内容である。これらを読んで、後の1～5の問いに答えなさい。

### 【メモ】

- |                               |                          |
|-------------------------------|--------------------------|
| ・令和4年11月19日(土)、9:00～10:00に行く。 | ・掃除道具は生徒会が準備する。          |
| ・場所は、ふれあい公園、健康福祉センター周辺。       | ・雨の場合は中止する。              |
| ・ごみ拾いや掃き掃除をする。                | ・案内状は10月20日配付。           |
| ・集合は8:30までに、若葉中正門前。           | ・軍手、タオル、飲み物は、各自で準備してもらう。 |

### 【案内状の下書き】

令和4年10月20日  
生徒・保護者の皆様  
若葉中学校生徒会

#### 地域清掃活動のご案内

a 皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、若葉中学校生徒会では、下記のとおり、地域の清掃活動を行います。学校行事や学習活動でお世話になっている場所を、日頃の感謝を込めてきれいにしたいと考え、計画しました。生徒・保護者の皆様も、ぜひご協力ください。

多数のご参加を待っています。

#### 記

- |        |  |
|--------|--|
| 1 日 時  | 11月19日(土) 午前9時～午前10時<br>※8時30分までに若葉中学校正門前に集合 |
| 2 活動内容 | ふれあい公園、健康福祉センター周辺のごみ拾いや掃き掃除                  |
| 3 持ち物  | 軍手、タオル、飲み物<br>※掃除道具は <u>生徒会が準備</u> をします。     |

ひなた 地域清掃活動の案内状の下書きを作成してみました。アドバイスをいただけませんか。

先生 案内状の書き方に従って書いていますね。保護者の皆様にも配付する案内状なので、「多数のご参加を待っています」の「待つて」は、謙譲語を使って書き直すとういと思ひますよ。

ひなた 分かりました。「多数のご参加を」b「います」という表現に書き直します。他に、直したらよいところはありますか。

先生 参加を希望する人には、事前に申し込みをしてもらってはとうでしょう。事前に申し込んでもらえば、生徒会として、準備が必要な掃除道具の数も把握できますよ。

ひなた 先生のおっしゃるとおりですね。この案内状の下の部分に、返信欄を作成して、参加を希望する人には提出してもらおうと思います。

先生 では、書き直したらもう一度見せてくださいね。

1 【案内状の下書き】中のaに入る時候の挨拶として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 梅のつぼみが膨らむ季節となりました。

イ 木枯らしが吹く季節となりました。

ウ 新緑が鮮やかな季節となりました。

エ 紅葉が色づく季節となりました。

2 【案内状の下書き】中の——線部の「生徒会が準備をします」から、助動詞をそのまま抜き出して書きなさい。

3 【会話】中のbに当てはまる適切な言葉を書きなさい。

4 ひなたさんは、【案内状の下書き】を見直しているときに、【メモ】にあるのに、【案内状の下書き】には書いていないものがあることに気づいた。その一文を、【メモ】中からそのまま抜き出して書きなさい。

5 【案内状の下書き】の内容を説明したものととして誤っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 計画した理由を記すことで、活動への関心を高めてもらえるよう工夫している。

イ 清掃活動の手順を具体的に示すことで、活動内容を詳しく伝えようとしている。

ウ 必要な情報を項目に分けて整理することで、分かりやすくなるよう示している。

エ 話題を変える接続詞を用いることで、案内状で伝えたい内容を明確にしている。

二 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

(一) 文章中の  に当てはまる言葉として最も適切なものを、文章中から漢字二字でそのまま抜き出して書きなさい。

(二) 文章中の——線部 1 に「このことが表現するときには立ちはだかる、最初で最大の問題なので」とあるが、筆者が「最初で最大の問題」であると述べているのはどのようなことか。「トピック」「テーマ」の二つの言葉を必ず使って、五十字以上七十字以内で書きなさい。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

(三) 文章中の——線部2に「これは、『評論家』的態度とでもいうべき、もっとも忌避される姿勢を形成してしまいます」とあるが、忌避される姿勢を形成しないために、どうすればよいと筆者は述べているか。また、そのような筆者の考えについて、あなたはどのように考えるか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

**条件1** 全体を**八十字以上百字以内**にまとめること。

**条件2** 最初に、筆者の考えを説明し、次に、それに対する自分の考えを書くこと。

**条件3** 自分の考えについては、なぜそう考えるかという理由を明らかにして書くこと。

(四) 文章中の——線部3に「この双方の感覚こそ、自分のことばを成り立たせるものなのです」とあるが、筆者は「自分のことば」についてどのように述べているか。その内容として最も適切なものを、次の**A**～**E**から一つ選び、その記号を書きなさい。

**A** 自分だったらどう考えるかという自分ごとの問いと、相手だったらどう考えるかという相手の思いに添った問いとの一致する部分を見出そうとすることで、相手意識をもった自分のことばが成り立つ。

**I** 自分の中にある感情や感覚に近い自己に向かう問いと、それらを論理的に整理して相手に伝えるための相手に向かう問いとを使い分けることで、信頼性の高い自分のことばが成り立つ。

**ウ** 自分であればどうするかという自己に向かう問いと、相手にどのように伝えるかという相手に向かう問いとが一致したときに生まれたことばで相手に発信するとき、説得力のある自分のことばが成り立つ。

**E** 自分の問題として引き寄せて考える自分ごとの問いと、相手自身が自分の問題として考えている問いとの違いを認識したうえで相手に伝えるとき、相手を納得させるような自分のことばが成り立つ。

〔三〕 次の文章を読み、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。

孝道入道、仁和寺にんなじの家にて或る人と双六すごくをうちけるを、隣にある越前房えちぜんぼうといふ僧けんじよきたりて見所すとて、さまざまのさかしらをしけるを、にくしくしと思ひけれども、物もいはでうちぬたりけるに、この僧、さかしらしさして立ちぬ。「かへりぬ」と思ひて、亭主、<sup>1</sup>「この越前房はよきほどのものかな」といひたりけるに、かの僧いまだかへらで、亭主のうしろに立ちたりけり。<sup>2</sup>かたき、また物いはずとて、亭主のひざを突きたりければ、うしろへ見むきて見れば、この僧いまだありけり。この時ともあへず、「越前房は高くもなし。低くもなし。よきほどのものな」といひ直したりける、心はやさ、いとをかしかりけり。

(橘 成季『古今著聞集』による)

(注) 双六：盤の上で、二つのさいころを振り、出た目の数だけ駒を進め、早く敵の陣地へ自分の駒を入れることを争う遊び。

見所す：観戦する。

さかしらしさして：口出しをするのをやめて。

亭主：孝道入道のこと。

かたき：双六の相手。

とりもあへず：すぐに。

(一) 文章中の~~~~線部の「うちぬたりけるに」を現代仮名遣いに直して、~~~~線部全部をひらがなで書きなさい。

(二) 文章中の——線部1「思ひて」、2「立ちたりけり」の行為を行った者は、それぞれ誰か。その組み合わせとして適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- |   |        |        |   |        |       |
|---|--------|--------|---|--------|-------|
| ア | 1ー孝道入道 | 2ー或る人  | イ | 1ー孝道入道 | 2ー越前房 |
| ウ | 1ー越前房  | 2ー孝道入道 | エ | 1ー越前房  | 2ー或る人 |

(三) この文章で述べられている内容と合っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 孝道入道は、双六を観戦していた人物に対する批判を口にしたが、その場にその人物がいることに気づかされたので、機転をきかせて別の話題にすりかえた。

イ 孝道入道は、双六を観戦していた人物から戦法について勝手なことを言われたが、腹を立てずに最後まで落ち着いて勝負を続けたので、実力で双六の勝負に勝った。

ウ 孝道入道は、双六を観戦していた人物に对战相手の邪魔をするように頼んだが、その人物は何もしないでただ見ているだけだったので、もうしなくてよいと言って帰らせた。

エ 孝道入道は、双六を観戦していた人物からの助言を期待したが、その人物が何も言わず帰ろうとして立ち上がったので、呼び止めて助言をくれるよう再度お願いした。